

授業科目 医学基礎

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	健康	
遠藤和男		開講時期	後期	必修・選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【概要・一般目標：G10】						
<p>医学基礎は疾病の原因とその成り立ち（病態発生）についての学問で、医学・医療分野の基礎的科目の1つである。管理栄養士国家試験範囲の大分類では『人体の構造と機能および疾病の成り立ち』に含まれる。種々の疾病の原因を明らかにし、その原因が生体にもどのように作用し生体がどのように反応し、その結果どうなるかを知ることは、疾病の診断・治療・予後の理解に役立つ。解剖生理学や生化学の知識をもとに、授業では病理学の基礎的事項や用語を理解する。また、臨床医学Ⅰ、Ⅱへの導入として、臨床医学科目と関連する分野も学習する。</p>						
【学習目標・行動目標：S80】						
<p>1) 腫瘍の定義、分類、発生機序、生物学的特性を理解し、良性腫瘍と悪性腫瘍の差異、転移などの臨床的事項も学ぶ。</p> <p>2) 免疫系の全体像、主な免疫担当細胞の名前と働きを説明できる。アレルギー疾患や自己免疫疾患の例をあげ発生機序を説明できる。</p> <p>3) 感染症の成立要因と防御機構、病原微生物の種類、代表的疾患について学ぶ。</p> <p>4) 循環障害に関連した用語を理解する。とくに梗塞、血栓症、塞栓症について具体例をあげて説明できる。</p> <p>5) 内分泌系、生体の恒常性維持機構とその異常をきたす疾患について学ぶ。</p> <p>6) 蛋白質、糖質、脂質およびミネラルの代謝異常について学ぶ。</p> <p>7) 創傷治癒、炎症、退行性病変（変性、萎縮、壊死）、進行性病変（再生、化生、肥大、過形成）などの病理学用語を理解する。</p>						
回数	授業計画・学習の主題				S80 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	医学基礎の総論的事項					講義
2	腫瘍(1)	腫瘍の診断：病理診断、画像診断など				講義
3	腫瘍(2)	腫瘍の発生と進展、腫瘍の分類（例：胃癌）				講義
4	免疫(1)	免疫系の全体像				講義、ビデオ
5	免疫(2)	免疫系の異常を示す疾患：自己免疫や免疫不全				講義
6	免疫(3)	アレルギー疾患について 免疫系のまとめ				講義、小テスト
7	感染症(1)	感染防御機構と病原体				講義
8	感染症(2)	主要な感染症（肝炎、結核、STDその他）				講義
9	循環障害	充血、うっ血、血栓、塞栓、梗塞、出血、ショックなど				講義、小テスト
10	内分泌調節系(1)	恒常性維持のしくみとその破綻				講義
11	内分泌調節系(2)	主要な内分泌疾患				講義
12	代謝異常(1)	ミネラルの代謝異常、骨粗しょう症とカルシウム代謝				講義
13	代謝異常(2)	鉄代謝と貧血、ビリルビン代謝と黄疸				講義
14	病理学用語のまとめ	細胞の生と死、修復と再生、炎症反応など				講義
15	まとめ					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		カラーで学べる病理学	渡辺照雄	ヌーヴェルヒロカワ	2002・2,625円	
参考書						
その他の資料		プリント				
【評価方法】 筆記試験の成績＋出席点 レポート提出			【履修上の留意点】 授業内容は教科書の総論部分が主になる。2年次の臨床医学Ⅰ、Ⅱを学ぶ上でおさえておくべき内容である。			